



ケロちゃん通信

2020年 6月 第60号



ながおか医療生協 あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号0258-36-5810
http://www.nagaoka-iryu-seikyoku.jp/

- ☆ もうすぐ梅雨の季節です。雨の日や暑い日も増え、服装も夏モードに衣替えの季節です。本来なら夏風邪も流行りだす季節ですが、今年の感染症は流行がよめません。コロナも収束傾向にあり、人の活動もふえてきました。夏になったらいろいろな制限が解除され、楽しい夏休みになることを願っています。
- ☆ 5月13日より、Web問診を開始しました。開始後よりスマイリーで予約された方のほとんどはWeb問診もご利用いただいております。事務手続きが簡略化され、待ち時間の短縮にもつながっています。今後ともご利用よろしくお願いたします。
- ☆ 6月3日より、プライバシー保護の観点より院内での呼び出しを、お名前ではなく番号で行いますので、よろしくお願いたします。
- ☆ 6月より(準備ができ次第)、外来会計でPayPayでのQRコード決済を開始予定です。通常の530円の支払い時、小銭を持ち合わせていない時、予防接種でまとまった金額になってしまう場合などにご利用いただくと便利だと思います。よろしくご利用お願いたします。
- ☆ スギ花粉症の季節もそろそろ終わり、新規にスギ花粉症の舌下免疫療法を始められる季節になりました。スギ花粉症やダニアレルギーでお悩みの方は、ご相談ください。

6月の診療予定
本間医師 (19日午前)



診療案内

新型コロナウイルス感染予防のため、診療体制を変更していますので、ご協力お願いたします。

・軽度の風邪症状や急がない定期処方などの場合には、不要不急の受診は避け、なるべく自宅で経過観察またはお電話でご相談ください。

・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る一般外来と慢性疾患(感染性のない疾患や定期処方など)を診る慢性外来の診療時間を分けるように変更します。

午前	月 ~ 土
8:45 ~ 11:00	一般外来：急性疾患（感染性）
11:00 ~ 12:00	予防接種（1歳以上）＋慢性外来（月は除く）

午後	月、火、木、金
13:45 ~ 15:00	予防接種（1歳未満）＋乳児健診
15:00 ~ 16:00	予防接種（1歳以上）＋慢性外来
16:00 ~ 17:30	一般外来：急性疾患（感染性）

午前 11:00-12:00 . 午後 13:45-16:00 は、一般診察はできませんので、ご協力お願いたします。

午後の一般外来開始は 16:00 となります、土曜の一般外来は 11:00 までになりますのでお間違えのないようにお願いたします。

スマイリーでは、急性疾患は「診察」から、慢性疾患・定期処方等は「慢性疾患」からご予約ください。慢性疾患の場合には、電話による再診、処方もできますので、ご相談ください。もちろん、急を要するような場合にはすぐにご連絡ください。詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

・周辺の感染状況により対応が変わると思いますが、その都度 ご連絡させていただきます。しばらく制約も増えご迷惑をおかけしますが、感染予防のためご協力お願いたします。

新型コロナウイルス感染症について

- ☆ コロナウイルスは、6種類あり新型で7種類目です。SARS、MERS以外の4種類は普通のかぜのウイルスです。子ども達がかかるせきや鼻水の風邪の多くはコロナウイルスやライノウイルスなどのかぜウイルスによるものです。
- ☆ コロナウイルスは、インフルエンザウイルスなどと同様にRNAウイルスであり、変異を起こしやすいウイルスです。ウイルスは地球上に生まれてから頻繁に変異をおこし、それが感染力や病原性が高い場合には流行を繰り返し、今回もその一つの流行だと思えます。新型インフルエンザの流行の時も、翌年には新型インフルエンザではなくなりました。今回も、1, 2年後、ウイルスと共存する生活になれば新型という名前はなくなり7番目のコロナウイルスまたは単にCOVID-19として認識されていくのではないのでしょうか。
- ☆ 日本では新型コロナウイルス感染症の死亡者、重症者が欧米にくらべて少なく、それも高齢者に集中しています。子どもに関しては死亡例の報告はなく重症化も稀です。その理由はまだ解明されていませんが、いろいろな説があります。中国、韓国、台湾、日本などの国は、昔から大陸で発生する変異したコロナウイルスに何回も経験してきたと考えられています。そのため、欧米人にはない免疫(自然免疫を含む)を持っており、重症化しにくいのではないかという説もあります。BCGを接種している人、国では重症化が少ないというのも、BCGによる自然免疫の活性化が関係しているのかもしれませんが。また日常的に子どもはコロナウイルスの風邪に罹患しており、新型に対しても免疫があるのではないかという説もあります。
- ☆ 日本では、緊急事態宣言の出る前の3月27日が発生のピークで以後減少傾向にあります。将来、今回のコロナウイルスの流行を総括をするときに、収束は、3密・外出制限などの社会的な対応によるものなのか、ウイルスの病原性や人種による感受性の違いなどによる生物学的な理由によるものか、また両方なのか、検証されていくのだと思えます。

- ☆ 新型コロナウイルスで社会が混乱しているのは、未知であるということ、ワクチンがないこと、治療薬がないことの3点につきると思います。医療崩壊の問題はその二次的な問題なのだと思います。近い将来、ワクチンができると思いますが、同じコロナウイルスであるSARSやMERSのワクチンもできていない状況なので不安は残ります。今回の件でワクチンの重要さが再認識されたと思います。
- ☆ 感染症は新型コロナだけではなくありません。インフルエンザだけでも超過死亡として毎年1万人近い方が亡くなっています。20年前のインフルエンザ脳症の流行では年間500人前後のお子さんが亡くなられていました。この時は今回のコロナとは逆で日本などの東アジアで死亡が多く、欧米ではインフルエンザ脳症という概念すらありませんでした。
- ☆ ワクチンで予防できる病気に対しては、しっかりと予防接種を受けて病気に罹らないようにしましょう。



おとうさん
ありがとう

新入職員紹介

田崎清子さん(看護、4月入職)

好きなこと: 旅行

- 一 言: 皆様のお役に立てるよう
に頑張りたいと思います。
どうぞ宜しくお願いいたします。